

第4回気候変動適応近畿広域協議会 議事概要

令和2年10月7日(水) 14:00~17:00

於 TKPガーデンシティPREMIUM心齋橋 3階 バンケット3A(北)

(+WEB開催)

【議題】

1 挨拶、出席者紹介

(環境省 近畿地方環境事務所 所長)

(座長 京都大学防災研究所 教授)

2 気候変動適応近畿広域協議会設置要綱の一部改定について -事務局(近畿地方環境事務所)-

資料1-1 「(改定案) 気候変動適応近畿広域協議会設置要綱」

資料1-2 「(現行) 気候変動適応近畿広域協議会設置要綱」

①構成員(予定者)

- ・構成員の名称変更2件
- ・構成員の追加1件(おおさか気候変動適応センター)

②アドバイザー

③設置要綱の一部改定について

満場一致により承認

3 広域アクションプラン策定事業について

①本事業の概要について -環境省気候変動適応室より-

資料2 「気候変動適応における広域アクションプラン策定事業」

②近畿地域業務に関する説明 -近畿地方環境事務所より-

資料3 「事業計画(案)」

③各分科会の内容説明 -日本気象協会関西支社より-

- ・暑熱対策分科会 座長、副座長

資料4 「暑熱対策分科会」

・ **お茶対策分科会 座長、副座長**

資料5 「お茶対策分科会」

・ **ゲリラ豪雨対策分科会 座長**

資料6 「ゲリラ豪雨対策分科会」

—— 【休憩 15分】 ——

<協議、質疑・意見交換>

(有識者)

暑熱と豪雨対策に関して、どちらも都市における問題課題である。熱の緩和をいかに獲得するか、また、雨が一気に集まってこないようにするにはどうしたらいいか、という対策をセットに考えることができるのではないか。グリーンインフラやECO-DRR（生態系を活用した防災・減災）はセットに考えることができ、ぜひアクションプランに加えてほしい。効果としては降雨の樹幹遮断や地下浸透をより促進する、といったことを見込むことができ、暑熱緩和、豪雨対策にもかかわる。

お茶対策に関しては、お茶と植生をセットにすることで気候緩和をはかるといった考え方も検討してほしい。

(座長)

今、お話をいただいた通り、単一の課題解決だけに集中するのではなく、他分野との横の繋がりを考慮することは大切であると思う。現時点では、まだ事業の内容を絞り込む段階であるので、今すぐに意識して進める必要はないが、今後検討を進める中で関係する部分があれば、検討の中に取り入れていけばよいと思う。

4 近畿地域における気候変動適応への取組に関する情報共有

① おおさか気候変動適応センターについて

— おおさか気候変動適応センター —

資料7 「おおさか気候変動適応センターについて」

<質疑・意見交換>

(座長)

海洋生物と海の水素イオン指数 (pH) の低下による影響も気候変動適応の中で考えていくのか。

(おおさか気候変動適応センター)

海の水素イオン指数低下が大阪湾の海洋生物にどのような影響をもたらすか、というのはまだ調べることができていない。水産研究センターから情報はでているため、そういったものも確認しながら科学的知見を集めていく。魚介類に影響が出やすいと聞いている。

(環境省)

- ・国民参加による気候変動情報収集・分析事業には、第一公募として適応センターの継続5県（滋賀県、茨城県、静岡県、愛知県、三重県）、新規3府県（大阪府、栃木県、愛媛県）があり、採択した。
- ・那須塩原市が第二公募として、市としては初めて本事業に参画いただいている。
- ・事業のそれぞれの取り組みはまた各センターから報告いただければと思う。

②企業における適応ビジネス事例の紹介 -NTT西日本-

資料8 「ICTの活用による気候変動適応ビジネス事例のご紹介」

<質疑・意見交換>

(有識者)

水門の制御は、ブラックアウトのときにどうするかも問題になる。電力システムが必要になるが、北海道でブラックアウトがあった。大規模のインフラシステムを持っていないと難しいと思った。

(NTT西日本)

まさにおっしゃる通りで遠隔制御には電気があることが前提になる。すべてに対応しており万全であるとは言えないが電動化している所は蓄電池でバックアップしている自治体もある。

(有識者)

データの収集から活用・管理・発信など、全体のシナリオを考えないといけない分野があるが、どう考えるか。

(NTT西日本)

どのようなデータを集めるかは重要である。最初に完璧なシナリオを考えることは不可能なので、いったん仮説をつくり、データを取って分析までしてみるといったことは以前よりしやすくなっている。

(有識者)

技術的な手法もたくさん出てきており、様々な分野の方が携わると思うので、データの管理が心配になるところである。

(NTT西日本)

情報をひとつひとつ分散させることでそれだけ見ても何もわからないという形で保存をする秘密分散、情報を分散させたままデータの解析を行う秘密計算といった技術がNTTにもあり、そのような技術を活用しながらやっていくことになると思う。

(有識者)

LoRaWANは誰がインフラとして整備するのか。

(NTT 西日本)
今のところ NTT のグループ会社で行う。

③農林水産分野における地球温暖化対策 ー近畿農政局ー

資料9-1 「農林水産分野における地球温暖化対策」

資料9-2 「食料・農業・農村基本計画(抜粋)」

<質疑・意見交換>

5 事前アンケート等に基づく協議、質疑・意見交換

資料10 「地域気候変動適応施策に関する事前アンケート」取りまとめ結果

6 閉会挨拶・連絡事項伝達

配付資料一覧

- ・ 議事次第
- ・ 現地参加者座席表
- ・ 出席者名簿

- ・ 資料 1 - 1 (改定案) 気候変動適応近畿広域協議会設置要綱
- ・ 資料 1 - 2 (現 行) 気候変動適応近畿広域協議会設置要綱
- ・ 資料 2 広域アクションプラン策定事業の概要について
- ・ 資料 3 広域アクションプラン策定近畿地域業務 事業計画 (案)
- ・ 資料 4 暑熱対策分科会
- ・ 資料 5 お茶対策分科会
- ・ 資料 6 ゲリラ豪雨対策分科会
- ・ 資料 7 おおさか気候変動適応センターについて
- ・ 資料 8 ICTの活用による気候変動適応ビジネス事例のご紹介
- ・ 資料 9 - 1 農林水産分野における地球温暖化対策
- ・ 資料 9 - 2 食料・農業・農村基本計画 (抜粋)
- ・ 資料 10 「地域気候変動適応施策に関する事前アンケート」取りまとめ結果

以上